

## 第40回中川村リニア中央新幹線対策協議会 会議録



期 日 令和7年3月25日(土) 午後7時00分～8時30分

場 所 中川村役場 基幹集落センター 集会室

### 出席者

- ・対策協議会委員 16人 (16人中欠席者3人)
- ・J R 東 海 10人 (うちJV3人)
- ・長 野 県 7人 (伊那建設事務所2人、飯田建設事務所5人) ※以下「伊建」「飯建」
- ・村 関 係 者 4人
- ・マ ス コ ミ 3人

---

## 1 開会

事務局 皆さんこんばんは。時間は若干早い訳ですけれども、今日のご出席の方々は全員おそろいですのでただいまから第40回中川村リニア中央新幹線対策協議会を開催したいと思います。携帯電話をお持ちの方は、マナーモードまたは電源を切るようお願いいたします。

資料1, 2と2-1, 3と4とありますので、ご確認をお願いいたします。それでは会長挨拶をお願いします。

会長 改めましてこんばんは。  
委員の皆さん、年度末ということと、ルート沿線の総代さん方が代わったばかりでございますので、今日は初めての会合になるかと思っております。そういう意味で、ちょっとご挨拶をさせていただきます。

お彼岸が過ぎて急に暖かくなったのかなというような気がしております。昨年より少しばかり桜の開花は遅れるそうだというそんなような報道もあります。

委員の皆様には何かとお忙しい中、お集まりをいただき大変ありがとうございます。リニアトンネル掘削発生土の運搬ルート沿線の地区総代の皆様には、新しく委員に任命させていただいたところであります。前地区総代さんから引き継ぎなどを受けていることかとは思いますが、協議会は初めてのご出席ということでもありますので、不明な点、それから疑問に思うことなどございましたら何なりと発言をしていただいで早く理解といたしますか、慣れていただければありがたいなというふうに思っております。

これについては、特に運搬経路だけではなくて、リニアの工事全体に関わる事業についてどんなことをしているのかということもご理解をいただければありがたいということでございます。

今日はJR東海さんから現在進めているトンネル掘削工事の他、半の沢の盛土工事など、関連する整備工事の進捗状況をご報告いただき、渡場交差点他1ヶ所の測定地点での大気の状態・振動等の環境測定の報告、これからの工事車両の運行計画について報告をいただきます。

また運行ルートになっております県道、それから国道を管理して、改良工事を進めていただいております、飯田建設事務所および伊那建設事務所から工事の進捗状況補修工事の状況等お話をいただいて、関係機関とのまた協議状況等もご説明を受け協議を進めてまいりたいというふうに思います。

また渡場地域の沿線の皆様から運搬ルートに関しての要望を昨年いただいておりました。ですので、飯田警察署等関係機関との要望を行ってきたところございまして、その件につきましても、村、それからJR東海さんから報告をさせていただきます。

本会の会議が徐々に後の問題が少しでもなくなり、安全な車両運行ですとか、沿線住民の良好な居住環境の維持に繋がることを関係各位にお願いをいたしまして、協議会の冒頭のご挨拶に代えさせていただきます。

よろしく申し上げます。

事務局

続きますして3番、委員委嘱ですが、会議次第の2ページに委員名簿、それから3ページに同協議会の設置要綱がございますのでご覧ください。第4条におきまして、委員の皆様は任期は2年とさせていただきます。今回、各地区総代さんが、交代したことにより、今回の委員会を開催するにあたり、委嘱をお願いするということですが、時間の関係上、失礼ながら机に置かせていただいておりますので、ご理解いただきたいと思います。

それでは協議事項等につきましては会長の進行で申し上げます。

会長

はい。それでは着座で進めさせていただきます。お手元の次第に沿って協議を行います。最初にJR東海さんから工事関係についてのご説明をいただきます。よろしく申し上げます。

JR東海

皆さんこんばんは。本日はお忙しい中、またお仕事終わりを迎える中、このリニア対策協議会で我々に説明のお時間をいただきまして誠にありがとうございます。また皆様におかれましては日頃から中央新幹線の建設事

業にご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

令和6年度も終わりに近づき大鹿村内でトンネルを掘削する工事など、活性になったというか、順調に多くの工事を安定的にこなしているという段階になってきております。ということで、中川村村内を通る工事用車両の台数も多くなってきているというところで、村民の皆様にはご不安ご心配をおかけすることも多いのかなというところがございます。引き続き安全運転等しっかりと指導して、皆様にご安心いただけるように工事を進めてまいりたいというふうに考えております。

今晚も大鹿村内の工事の状況等について我々の方から説明をさせていただきたいと思います。丁寧な説明を心がけたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

JR東海

皆さん改めましてこんばんは。私の方からJR東海の工事の関係の内容についてご説明をさせていただきます。着座で失礼いたします。

お手元の資料1をご覧ください。右下にページ番号を振っておりますので、そちらに沿ってご説明をさせていただきます。2ページ目の本日のご説明内容です。大鹿村内の工事の進捗状況・工場車両の通行台数・環境測定結果・その他についてご説明をいたします。

次のページをお願いいたします。4ページ目の中央新幹線計画についてのご説明を、まずさせていただきます。大鹿村内の中央新幹線の計画でございますが、平面図左上に大鹿村の役場がございまして、そこから奥に約4キロほど行った赤い点線と実線、こちらが中央新幹線の計画路線でございます。小渋川の橋梁を挟みまして東側、右側が南アルプストンネル全長約25キロでございます。橋梁の左側こちらが伊那山地トンネル全長15.3キロでございます。そのうち大鹿村内では2工区、南アルプストンネル新設長野工区と伊那山地トンネル新設青木川工区の2工区で工事の方を進めている状況でございます。

まず、南アルプストンネル新設長野工区につきましては、赤い丸の3箇所非常口、こちらから横穴を掘りましてトンネルの掘削の方を進めておりまして、赤色の点線本線のトンネルと並行して緑色の点線、先進抗のト

ンネルを掘削しております。この先進抗というのは、本トンネルより一回り小さい断面でございまして、それを本坑に先駆けて掘削をしまして前方の地質の状況ですとか、水の状況を確認しながら、本線のトンネルを掘削していくというような形で工事の方を進めております。

伊那山地トンネル新設青木川工区につきましては、1ヶ所の非常口からトンネルの掘削の方を進めている状況でございます。またこの他に村外で1ヶ所小渋川変電所、変電施設を計画しております。

次のページをお願いいたします。5ページ目です。南アルプストンネル長野工区の工事の状況についてご説明をいたします。南アルプストンネル長野工区につきましては本坑延長約8.4キロ、先進抗の延長、約8.0キロでございまして右下にそのうちの工事の進捗状況として掘削済みの延長を記載しております。

先進抗は8キロのうち約4.1キロが掘削済み、本坑は約8.4キロのうち2.2キロが掘削済みでございまして、平面図中の実線で塗られた範囲が掘削済みの区間となっております。

また赤と青の矢印で示した位置で、現在、トンネルの掘削を進めておりまして、本坑トンネル2ヶ所先進抗のトンネル1ヶ所の掘削を進めている状況でございます。

次に6ページ目、下にあります伊那山地トンネル、青木川工区の工事の状況についてご説明いたします。こちらは非常口が掘削完了し、本坑3.6キロのうち約1.2キロが掘削完了というような状況でございます。

次のページをお願いいたします。7ページ目です。ただいまご説明をした4ヶ所のトンネルの工事のトンネル先端付近の工事の状況写真をお示ししております。

次に下の8ページ目です。大鹿村内の発生土仮置き場の状況についてご説明をいたします。現在トンネルの工事が出た掘削した土につきましては、ダンプの台数を平準化する目的で大鹿村内の発生土仮置き場に一旦仮置きをして、ダンプの台数を調整しながら、搬出の方を行っている状況でございます。大鹿村内では2ヶ所発生土置き場を運用しておりまして、そのうち発生土仮置き場B、三正坊というところについては、現在、土砂の

搬出を適宜行っており、仮置き場E、小渋川変電所予定地につきましては土砂の搬入と搬出を行いながら、工事を進めている状況でございます。

次のページをお願いいたします。10ページ目です。発生土運搬ルートについてのご説明をいたします。村内の発生土運搬につきましては、現在、主要地方道松川インター大鹿線沿いの半の沢という県道の改築事業、村内の小和田地区基盤整備事業、駒ヶ根市中沢の土地改良事業に発生土を運搬している状況でございます。

運搬ルートにつきましては、大鹿から各発生土活用先への行きにつきましては赤い実線、大鹿に帰っていく戻りにつきましては青色の点線でお示しをしております。松川インター大鹿線渡場交差点から、行きについては、竜東線北林飯島線を通りまして、中川村田島の交差点から国道153号に出て、小和田地区、駒ヶ根市中沢地区に発生土を運び、戻りについては国道を南下して、松川町内の町道を一部経由しまして、渡場の交差点に戻り、大鹿に帰っていくというように、この交差点から国道の間については、一方通行で運行している状況でございます。

この運行ルートにつきましては、令和6年、昨年1月からルートを変更しております。台数の分散並びに交通安全を目的として実施している状況でございます。

次のページをお願いいたします。11ページ目です。今後の工事用車両の運行計画についてご説明をいたします。こちらの資料は昨年7月、第37回対策協議会の資料でご説明した内容を一部加工しているものでございまして、今後の工事車両の平均台数といたしましては、1日当たり約960台、赤色のグラフでお示しをしております。この平均台数に対しまして、大鹿村内また県道59号の半の沢で発生土活用することによりまして、渡場の交差点まで発生土運搬ダンプを通行させずに工事の方を進めることで、青いグラフの通行台数まで低減させるような形で、工事の方を進めている状況でございます。

今後は550台から620台、720台の形で平均台数が推移して参りまして、2027年度末に、先ほどご説明した伊那山地トンネル青木川工区のトンネル掘削が完了し、その後、2028年末に南アルプストンネル長野工区のトンネル掘削が完了する予定でございます。その後、順次、工事用車両の台数が

低減をしていき、2030年にかけては、工事用車両の運行を計画しているところでございます。

次に12ページ目・13ページ目になりますが、直近の工事用車両の通行台数の実績について、ご説明をいたします。まず12ページ目が資機材の運搬車両にかかる通行台数の実績です。表中、一番右側の渡場交差点をご覧ください。渡場交差点につきましては、昨年の12月から今月にかけて、40台前後の台数で推移している状況でございます。

次のページをお願いいたします。13ページ目が発生土の運搬、10トンダンプの台数の実績でございます。渡場交差点におきましては、昨年の12月から3月については、600台強から400台弱という形で推移しております。関連して表の中段下段に村内の半の沢の道路改築事業、また大鹿村内で実施しております発生土活用先への運搬、こちらの方が年明け以降順次台数が増えてきている関係で、渡場交差点におきましては、台数の低減が図られ、順次台数が今減ってきているというような状況でございます。

次に下の14ページ目です。当面3ヶ月の工事用車両の通行台数の予定についてご説明いたします。渡場交差点前におきましては、引き続き、月別日平均550台に日最大720台で継続して実施をしまいいりまして、発生土運搬につきましては、駒ヶ根市の中沢並びに村内小和田地区の発生土活用先への運搬を、引き続き継続してまいります。

次のページをお願いいたします。次に環境測定の結果についてご説明をいたします。16ページ目です。この発生土の運搬工事用車両の通行に伴いまして、渡場交差点については、2018年11月から常時大気質、騒音振動の測定を実施しております。直近3ヶ月の結果について次のページからご報告をさせていただきます。なおA3で大きくした資料をご用意しておりますので、見やすい方でご確認をいただければと存じます。

まず17ページ目は、二酸化窒素並びに浮遊粒子状物質についての実績でございます。当該期間中、異常な値は確認されませんでした。二酸化窒素の1月6日のあたりだけ少し突出しているような結果が確認されましたが、こちらの原因については、わからない状況でございます。

次に18ページ目の騒音振動についてです。18ページ目はまず昼間の騒音振動の値となっております。こちらにつきましても、例年観測している騒

音振動の結果から、大きな異常な値は確認されなかったというような状況でございます。

次のページをお願いいたします。19ページ目になります。こちらは夜間の騒音振動の結果となります。こちらは工事用車両が通行していない時間帯となりますが、こちらについても、これまでご報告しておりますので引き続きご報告をしております。

次に20ページ目です。こちらは参考として、渡場交差点での浮遊粒子状物質の昨年4月から9月の結果に平均風速を重ねた資料でございます。前回の協議会の際に委員の方からご指導いただきまして本日ご報告をさせていただきます。

次のページをお願いいたします。次に竜東線での環境測定についてご説明をいたします。こちらは渡場地区からのご要望を受けまして、昨年の6月から半年に一度、運搬ルート沿線にあたる竜東線の大気質・騒音・振動の調査を実施しております。

その結果が22ページ目でございます。今回測定をした令和6年12月の結果については、赤色の数字でお示しをしております、前回の結果から大きな変動は見られず、各基準の基準値以内だったというような結果を確認しております。

次のページをお願いいたします。24ページ目、工事カレンダーお問い合わせ先を記載しております。工事カレンダーにつきましては、A3でお配りしている3枚の資料の一番最後に工事カレンダーをつけておりますので、そちらをご確認いただければと存じます。

こちらのカレンダーの見方になりますが、青木川・南アと書いてあるのが、大鹿村内でのトンネル工事を行う日、行わない日を色塗りで明記しております。発生土運搬については運搬を行わない日が赤色で色塗りをしております。前回協議会でお示しをした工事カレンダーからの変更箇所が一点ございまして、5月5日月曜祝日の発生土運搬については運休をするということで調整が整いましたのでご報告をさせていただきます。

JR東海からの説明は以上になります。ありがとうございます。

会長

はい、ありがとうございました。次第の協議事項の(1)のポツが3つ、渡場交差点付近における環境測定までの説明を行いました。初めての委員さんもいらっしゃるかと思いますので、このことについて、もしちょっとこれどういうことを言ってるのかとか、ご不明な点等ございましたら、ちょっと手を挙げていただいてマイクをお持ちしますので、それで発言をお願いをいたします。

それではですね、また見ていただいて、後でちょっとこれっていうのも結構ですから、次へ進めたいと思っております。協議事項の(1)のその他であります。

先ほど冒頭のご挨拶でも申しましたが、運搬ルートを逆にしてほしいというような要望がございましたので、このことについての検討結果について、村リニア対策室、それからJR東海さんの順序で説明をさせていただきます。お願いします。

事務局

皆様改めましてこんばんは。私の方から村の方で確認してきた事項について説明をさせていただきたいと思えます。座って説明をさせていただきます。

渡場地区の方からですね、地区内の騒音状況から、松川町の片桐松川沿いに、町道洞新線という新しくできた道と、国道の153号のところの交差点にですね、信号機の方を設置して、現在往路は竜東線、復路は国道を戻るという現在のリニアの工事発生土運搬ルートについて逆回りを、今画面に出していただけてますけれども、赤青を逆にするというような検討をしていただきたいというような要望がありました。まずは、このご要望ありました交差点のところに信号機が設置できて、右折することができるのかどうかということを村の方で国道の下伊那を管轄します飯田警察署公安委員会の方に確認してまいりました。

結果的に、条件的にはすごい難しいという回答、認識でございました。詳細な確認内容につきましては、2月26日に渡場地区の住民の皆様とJR東海との意見交換会のお場でお伝えして、渡場地区内の回覧をさせていただいております。そのときに、飯田警察署ではなく長野県警としての正式な回答は「現地確認等をした上で後日させていただきます」という回答があり

まして、昨日3月24日付で長野県警として、当該交差点につきましては「信号機の設置基準を満たさない」という正式な回答をいただいております。村としては、まずはこちらを確認させていただきました。

以上です。

会長                    はいJR東海さんお願いいたします。

JR東海                よろしくお願いいたします。私の方からは先ほど事務局の方からお話がありましたが、逆ルートの要望に対しまして、まず一番考えておりますのはきちんと安全の確保できるかというところでございます。

                          その中で一番我々として気にしておりますのが逆ルートにした際に町道洞新線から国道に出る道が、非常に通行量が多いところを右折で回らなくてはいけないということ、それから戻りにつきましても赤ルートに戻ってくるということで県道北林飯島線から竜東線に出る道ここも右折ルートで回らなくてはいけないというところで、なかなか安全の確保が難しいと考えております。

                          その中でも、この町道洞新線から国道に出る道についてはその安全を確保する上で、信号機の設置が必須だというふうに考えているところございまして、今回この信号機の設置が難しいという見解を警察の方からいただいたというところもありまして、この安全を確保する上で現在のルートで進めさせていただきたいというふうに考えているところでございます。

                          一方で、竜東線かなり厳しい上り坂、ここでダンプがアクセルを踏んで登っていくことで騒音振動を気になる方がいらっしゃるということも事実でございまして、こちらに関しても当然我々としてどうにかしなくちゃいけないということで現在、村外に出るものにつきましては駒ヶ根市の中沢、それから中川村の小和田の方に運搬しているところでございますが、来年度から前河原道路と福与河原の松川の方に行くルートを使ってダンプの運行が始まるということで、こちらにつきましては渡場を左折して往復するルートをとっていくということで、ダンプの運搬体制につきましても分散を図っていきたいというところでございます。

また、先ほど竜東線の上り坂現在制限速度50キロで走行しているところ  
でございますが、ここをですね少しスピードを緩めることによって少しで  
も振動騒音の解消ができないかというようなご意見の方もいただいでおり  
まして、来月ぐらいに少し試験的に制限速度50キロのところを例えば10キ  
ロ落として走行したときにどれだけの軽減効果があるのかというのを我々  
の方で確認をさせていただいて、それがかなり寄与するというような結果  
であれば、またその運行の方法について中川村の皆さんとご相談をしなが  
ら検討の方を進めていきたいというところでございます  
私の方から以上になります。

会長                    はい。運搬ルートを逆にした場合のお話、村対策室とJR東海さんからお  
話がありました。この件についてご質問等ありましたら、お話をいただけ  
ればと思っております。

                         JR東海さん、松川へ運ぶってというのはいつ頃からになりますでしょ  
うか？

JR東海                計画としましては、前河原の方に今年の夏頃から運搬の方を計画してい  
るところでございます。

会長                    ということでございまして、また対岸のほ場整備といいますか、基盤整  
備に運搬するというようなお話もありますのでこれが実現すればそちらに  
運ぶものが並行して進むことになりますから、連なっていくというのがか  
なり減るかなとこんなような気もしております。この件で何かございまし  
たら。では、全体でまたありましたらそのときにご質問をいただくことに  
して次へ進みたいと思います。県道工事関係について協議いたします。最  
初に主要地方道松川インター大鹿線の改良事業等につきまして、飯田建設  
事務所さんの方から説明をお願いいたします。

飯建                    皆様こんばんは。日頃より長野県の建設行政に深いご理解とご協力を賜  
りまして誠にありがとうございます。どうぞよろしく申し上げます。着座  
にて失礼します。

それでは、松川インター大鹿線の県の関連する工事についてご説明をさせていただきます。資料2、主要地方道松川インター大鹿線道路改良工事位置図をご覧ください。左側から順を追ってご説明をさせていただきます。

現在長野県で検討を進めている、あるいは工事を着手しているところがこの赤くお示ししてある箇所になります。まず①葛島でございます。葛島につきましては、現在関係機関と協議をしつつ、設計を進めているところでございます。

②二軒屋でございます。こちらにつきましては、1月から現道拡幅の工事に着手しております。後ほど資料の2-1をご覧ください。

③半の沢でございます。こちらはリニア中央新幹線建設に伴う発生土を活用して、半の沢の道路を改良する事業となっております。下段に2月時点での航空写真をお示ししております。現在盛り土作業を進めているところでございまして、盛り土工事は全体で約53万立米の計画となっておりますが、ソイルセメントによる盛り土が現在21万立米、普通土による盛り土が3万1000立米、仕上がっている状況でございます。

続きまして④四徳大橋西でございます。こちらにつきましては本来であれば、道路構造令に従った改良を行いたいところではありますけれども、全面通行止めを回避するために交通への影響が少なく、早期に効果が発揮できる局所的な拡幅を検討しておりまして、現在、詳細設計を進めているところでございます。

⑤道路情報提供設備でございます。こちらにつきましては、昨年カメラの設置とその接続を含めて完了しております。現在飯田建設事務所のホームページ等からもこちらの状況を確認できるようになっておりますので、ご覧いただければと思います。

⑥落合トンネルでございます。こちらにつきましては本体掘削工事を進めているところでありまして、全体888mのうち750mを超えている状況で、掘削につきましては現在順調に進んでいるところでございます。しかしながら、残土運搬の運転マナーや道路の損傷等で大鹿の村民の方から苦情をいただいているところでございまして、現在はそういったものの改善に努めているところであります。

引き続き、通行される皆様のご迷惑にならないような形で進めてまいりたいというふうに考えております。

その他の工事としまして、橋梁補修工事を令和6年度に松除3号橋・こいけどう橋で行ってまいりましたが、こちらは完了しております。それから舗装修繕工事につきまして、この4月以降に4ヶ所で実施する予定となっております。

続きまして資料2-1をご覧ください。二軒屋の道路改良工事でございます。先ほど申し上げた通り、1月から工事の方を着手しております、現在支障となる木の伐採をしたところであります。今後本格的に道路の工事の方に入ってまいります、その際には片側交互通行規制等を実施することになるかと思っております。その際には、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。私の方からの説明は以上です。

会長

はい。それでは関連もありますので、先に一般県道北林飯島線それから主要地方道伊那生田飯田線についての改良工事の進捗について伊那建設事務所さんから説明をお願いいたします。

伊建

はい。皆さんこんばんは。着座にて失礼します。

資料3を見ていただきまして、今現在伊那建設事務所で動いている場所として3ヶ所説明をさせていただきます。まずは①の北林飯島線の路面標示の修正についてです。こちらは12月12日に地元住民の方と、駒ヶ根警察署交通課の方たちと合同で現地の方の確認を実施させていただきました。施工時期についてなんです、こちらについては、今の現段階で降雪や融雪剤の影響や気温が低いことなども影響して今現在は施工が困難になっているため、4月に施工する予定となっております。

次に②に北林飯島線の北林橋周辺の道路拡幅工事についてです。こちらは2月に地形測量と道路計画予備設計業務を実施する業者が決まりました。現在、通知の方を関係のみなさまに出させていただいております。

今後は、葛北地区、また他の地権者の方たちに対して、測量等で土地に立ち入ることがありますので、またご相談や調整などをさせていただきながら、設計や測量を進めさせていただきたいと考えております。

最後に③の国道153号線の田島交差点の舗装修繕についてです。こちらは夜間施工で12月の23日と24日の夜間に舗装修繕の方をさせていただきました。伊那建設事務所からは以上になります。

会長                    はい、ありがとうございました。竜東線と北林飯島線の交差点付近の道路の舗装修繕をやっていたかと思うんですが、JR東海さん、いいですか、説明を一緒に合わせてお願いいたします。

JR東海                伊那建設事務所さんの資料3をお借りしまして、平面図の右側、伊那生田飯田線と北林飯島線の交差点からすぐ北林飯島線に入ったところですけども、ダンプが曲がり終えてから、アクセルを踏む際のトルクがかかってしまう影響で、舗装がかなり削れてしまっていた状況になっておりまして、3月15日の土曜日にこちらの舗装修繕をJR東海で実施しましたのでご報告いたします。

会長                    はい、ありがとうございました。それでは道路関係の説明が終わりましたので、あわせてご質問ご意見等を承りたいと思います。  
                             はい、今マイクを持ちますのでお願いします。

委員                    飯田建設事務所の方の道路改良工事の葛島の区間なんですけども、関係機関と協議中ということになってますけどもどのぐらいの範囲でどのような感じで工事をする予定なのかわかっている範囲で教えていただきたいんですけども。

会長                    はい。お願いいたします。

飯建                    はい。ご質問ありがとうございます。葛島につきましては、こちらを盛り土する計画になっておりますけれども、こちらについては河川区域を侵す形になりますので、まずは河川管理者である天竜川上流河川事務所さんと今話をさせていただいているところであります。概ねそちらについては、了解の方向で進んでおりますので、今後、我々の方で設計を進めて、

道路の設計ができた段階で改めて天竜川上流河川事務所と協議を進めてまいりたいというふうに思っております。それからこちらについては保安林等いろいろ行政的な手続き等もしていけないといけないところがございますので、お時間の方はちょっと頂戴する形になるかと思いますが、ご理解いただければと思っております。

会長 総代さん何かありましたら。

委員 やるとしたら来年あたりからか、もっと先になるのか。

飯建 見込みとしましてはまだこの後、設計をしてその後協議をして、先ほど言った保安林解除にはやはりその後1年ぐらいはかかるかと思っておりますので、少なくとも来年工事着手はちょっと難しいかなというふうに思っております。

委員 わかりました。ありがとうございます。

会長 ということで、実はやはりこれものすごく時間がかかることでありまして、天竜川上流河川事務所が管理をしておりますので、こちらの方では盛り土してもすること前提に今協議をしていただいておりますので、時間はかかると思いますが、もしかしら中部地方整備局っていうかあちらの方にまで話を持っていかないとOKが出ないということもあるようでありますので、しばらくお待ちいただければと思います、申し訳ございませんが。

他に関連でも結構でございますが、ありましたらどうぞお出してください。はい。

委員 すみませんちょっと関連かどうかわかんないんですけど、柏原地区の竜東線っていうか、伊那生田飯田線なんですけどちょっと道路が陥没っていうか下がってるところがあるので去年は1ヶ所だったんですけど、今年2ヶ所に増えましてちょっと地区の方から何とかならないかちょっとトラック等が通るとガターンっていう音がしてうるさいっていう指摘がありました

て、この間、村の方にもお願いしたんですけども、それについて伊那建設事務所さんの方で何とかならないかということ一点と、あと交通安全の面で今葛北のところに横断歩道があるんですけども、その横断歩道が全部消えちゃって、路面表記がないんですね、白の白線が。

ですんで、その辺の安全面についてもまたお願いしますということ、でそれとあと伊那生田飯田線で松川町の下小松川橋っていうんですか、片桐松川を渡る橋のところなんですけど、あの辺の路面表記が消えて、右折車線と直線車線の表記が全然わかんないんで、ちょっとリニア関連のトラックとかそういう意味じゃないんですけども、大型トラックが真ん中でドーンと止まっているような状況があるんで、その辺の表記も併せて今後リニア関連のトラック等がその辺をダンプが行き来するようになると、その辺について表示していただければわかりやすいかと思います。以上です。

会長                   3点ほど出たかと思いますが最初の柏原地区での路面がへこんでいるので音がするというんですけど、下水管が下に埋設されている関係があるかなと思ってますので、うちの課長から説明を申し上げます。

幹事                   どうぞよろしくお願いいたします。

                          今お話があった件ですが、先日も地区の方から中川村の方に地区要望ということで出していただきました。内容的には今おっしゃられたように陥没下水道管が県道を横断していて、その部分が沈下しているという状況であります。ですので、原因者としては中川村になるかと思われまますので、こちらについては道路管理を行う伊那建設事務所さんと協議させていただきながら復旧等図っていきたいと思います。

会長                   それでは路面標示横断歩道が葛北地区消えていることと、小松川橋を渡ったところの交差点の表示が消えているという私もちょっとそんな感じは、何回か通って見てますけど、飯田建設事務所さんですよ。伊那建設事務所でした、失礼します。



飯建                   すみません、桑原線っていうものがどこを指すのかがちょっと申し訳ないです。

幹事                   今おっしゃられるところは小渋ダムから出て行って、松川インター大鹿線にぶつかる場所交差点、トンネルの出口に直で出てくる場所のことですね。確かにちょっと見えにくいような場所があって、そこずっと上の方に行くと中村の中心の方に来る大草桑原線っていう村道の末端になるんですけども、ちょっと今そういうお話を伺いましたので、村の方で現地を確認させていただいたり、飯田建設事務所さんの方でもちょっと調整させていただきながらご意見に対してどういふようなことができるか、ちょっと検討させていただければというふうに思います。

会長                   そういうことでございます。

委員                   説明が下手ですみません、お願いします。

会長                   他にありますでしょうか？その他に入る前にJR東海の関係のことでも結構でございますのでいかがでしょうか？

それではですねその他へ移りたいと思います。三共地区の公共施設整備事業道路河川工事の完了等についてと小和田地区基盤整備事業搬入路周辺および牧ヶ原トンネル内の清掃等について村の建設環境課それからリニア対策室の方から要望が出ておりますので、説明を申し上げます。

幹事                   私の方からは三共地区公共施設整備事業について報告をさせていただきます。

資料4 ページのA 4 一枚になります。こちら道路改良および河川改修工事ということで内容につきましては、中川橋から上流に向かって南向地区堤防整備事業ということで、国の方で堤防整備を行っている上流側、鳳来沢川の接続する箇所になります。三共地籍になりますが、こちらの工事について南向地区堤防整備事業の完成堤に合わせて、準用河川の鳳来沢川、それから合わせて並行する村道の北林漁業池線の嵩上げと改良工事を実施

しております。昨年6月から今年の12月末にかけて工事を行っております。上の写真については着工前ということで、一部伐採を完了しておるときの写真になります。撮影箇所は天竜川の上空からの撮影になります。下が完了後になります。こちらの盛り土につきましては、リニアの発生土を活用させていただきました。この村単工事につきましては、今年度で完了ということになりますが、引き続き国が実施しております、堤防整備事業がこれから上流に向かって工事を進めていきますので、それに合わせて引き続き河川と村道を接続してもらおう形になっております。その後、堤防整備が上流まで完成した後、下の写真の道路の左側に窪地になる土地がございます。こちらについては堤防整備が完了した後にリニアの発生土にて盛土を行い、緑地として整備をする計画としております。

ですので、時期についてはまだいつになるかっていうのはわかりませんが、国それからJR東海さんと調整をして、今後の事業については進めていきたいと思っております。以上報告になります。よろしくお願いいたします。

事務局

引き続き私の方から次の件について説明をさせていただきたいと思っております。前回の協議会の方で意見がございました。今小和田地区の方でリニアの発生土を活用して嵩上げの工事を行っているわけですが、その搬入路の周辺、牧ヶ原トンネル内の粉塵がちょっとひどくなってるよということで、対策を考えた方がいいんじゃないかというご意見いただきまして、村の事業でありますので受注業者、また運搬を行っていただいておりますJR東海の方と協議をさせていただきました。

別件で渡場交差点周辺の清掃についても、昨年来検討をしまして、松川インター大鹿線を利用する関係団体に、12ヶ月毎月1回ずつ実施していただくことが決定しております。JR東海さんにも12ヶ月中5ヶ月分担ってもらうという形になっている中で、令和7年度が来月から始まるわけですが、初回であります4月にJRさんの方で渡場地区の交差点の方、路面清掃車入っていただくということを予定していただいております。その実施当日に合わせて、この小和田地区の周辺と牧ヶ原のトンネル内も路面清掃を合わせて実施していただくということになっておりますので、ご確認いただきたいと思います。

またそれ以降につきましては、村事業でありますので村の受注業者と協議しまして事業地から、まず土を国道へ出さない方法を検討して実施していくという予定でございます。

以上になります。

一点小和田地区の国道周辺の関係でちょっと住民の方からご要望いただいておりますのでお伝えをさせていただきます。国道を利用する住民の方からお電話いただきまして、小和田地区の国道の法面にアカシアだと思わんですが繁茂しているわけございまして、見通しが悪いとか枝葉が車両に当たるといった内容で苦情等を村の方にいただいております。将来的には、小和田地区の基盤整備事業ということで両側の法面も国道の高さまで埋まってくるわけではあるんですけども、当該箇所の施行までちょっと時間がかかりますので通常の維持管理の中で国道の敷地の管理になるかと思っておりますので伐採処理等を検討していただくなど、早めの対応をお願いしたいなと思っております。

以上すみません、要望をお伝えさせていただきます。

会長

その他で2点説明をさせていただきました。このことについてご質問等ございましたら、お出しをいただきたいと思っております。

清掃車については渡場交差点付近を清掃するときに合わせて協議をした上で153号トンネル内と工事の出入口付近もちょっと合わせてやっていただくような計画を立てたいと思っておりますので、決まりましたら、地区にはまたお知らせをして参ります。

よろしく申し上げます。全体を通して何かありますでしょうか？

それでは、今日は通常の話とお話と、対策を具体的にお示しをすることができたかなと思っております。これから4月になって本格的にまた運行が、今も続いてますけれども始まりますので、ぜひ安全には安全運転には徹底をしていただいて、工事上で何事もないようお願いをしたいというふうに思っております。

それでは協議事項は以上で閉じまして、事務局にお返しします。

事務局

それでは閉会の挨拶を副会長よりお願いいたします。

副会長

みなさん夜分の会議ということで、大変お疲れ様でした。貴重なご意見をいただきましたので慎重に協議を進めていきたいというふうに思います。どうもご苦労様でした。どうもありがとうございます。